

### 世界情勢の変化のなかで

1840年にはじまる清国(中国)と英国のアヘン戦争。この隣国を舞台とする戦いは、鎖国日本の有識者たちに大きな衝撃を与えます。そのため国内では要因を探るため世界各国の地理・歴史を究明しようという機運が生じました。そうした状況下で、腐心の末に最新の世界地図とその解説を兼ねる書籍を発行した新進気鋭の学者が出現し、その後の開明的知識人たちを世界という視座へ導くことになるのです。

### 植民地の存在を明確にした危機意識

『新製輿地全図』『坤輿図識』と名付けられたその成果の著者は、いずれも箕作省吾という20歳を迎えた早熟の蘭学者でした。ちなみに「輿地」「坤輿」とは「世界」という意味です。

彼は、文政4(1821)年水沢伊達氏の家臣佐々木秀規の次男として水沢城下(岩手県奥州市)に誕生。その後、江戸で秀才の誉れ高

い箕作阮甫に入門、その優れた才能はたちまち師に認められ、弘化元(1844)年、阮甫の娘を娶ってその養子となりました。

ところで『新製輿地全図』の特徴は「独立」「不独立」という用語で宗主国と非宗主国(植民地)の存在に留意させていることに尽きるでしょう。たとえば図中に㊦㊧㊨㊩㊪㊫㊬㊭㊮㊯㊰㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿の凡例で㊦はイタリア、㊧はフランス、㊨はオランダ、㊩は英国、㊪はドイツ、㊫はロシア、とその宗主国を明示します。すなわち、アジアにおける植民地支配という危機意識を喚起させたといっても過言ではありません。

また『坤輿図識』は、アジア・アフリカ・アメリカ・オーストラリアの情報を充実させてヨーロッパを加えた世界全体を網羅したことで、その内容が各国の人口・戸数、産業や交易の状況、産物、宗教、教育、歴史、政治制度などに及ぶ、それまでの地理書に類例のない記述を収載する画期的なものでした。殊に、1776年独立宣

言したアメリカ合衆国を「共和政治州」と紹介した嚆矢としても知られています。

### その宿命と鷹見泉石の支援

日本地理学史における大きな貢献を果たした箕作省吾には、幸いなことに研究を進める上で支援者が存在していました。古河藩家老鷹見泉石もそのひとり。泉石日記に残されている両者のやりとりを通覧すると、泉石が省吾の才能を高く評価し、助言をしていることが、『坤輿図識』や続編『坤輿図識補』の購入斡旋を通じて、彼の研究における資金的な協力を行ったことなどが浮かび上がります。

一例をあげると次の通り。弘化2(1845)年5月10日に「箕作省吾大概来、輿地図一覽中扉」とあり、泉石を訪問した大概磐溪が省吾とともに新製輿地全図を閲覧したというもの。磐溪は同図に序文を寄せた人物、いわば泉石のもとに集う蘭学サークルのメンバーといったところでしょうか。続く6月7日の「図識、御上百

疋、長兵衛二百疋、能登守様百疋、箕作へ遣、受取書来」という記事では、刊行前の『坤輿図識』を「御上(古河藩主土井利忠)一家の越前大野藩主土井利忠、そして「長兵衛(古河藩筆頭家老の小杉長兵衛)」に斡旋していることが確認されます。泉石はその代金として2人の殿様から「百疋」約2万5千円)ずつを、小杉長兵衛から二百疋を受け取って箕作家へ送金しました。殿様や筆頭家老の入手はすぐに広まるもので、その後の日記には多くの読者を獲得している様子がうかがえます。

こうした大成功を得た箕作省吾でしたが『坤輿図識』の続編執筆中に無理を重ねて結核に冒され夭折、26歳のことでした。泉石の無念はいかばかりであったことでしょうか。「省吾、忌日十二月十二日夜四時頃、落命、表向十三日之届」と、泉石日記には綴られています。(泉石所蔵『新製輿地全図』『坤輿図識』12月22日まで当館にて公開中)

古河歴史博物館学芸員 永用俊彦

### 【児童書・生物】

#### びっくり昆虫大図鑑

須田研司 監修

世界中から集めた、おもしろい姿や変わった生態を持つ昆虫を、迫力のある写真とともにわかりやすく紹介。クモやムカデ、クマムシなど、昆虫以外の「虫」とよばれる生き物も取り上げる。

出版社…高橋書店

### 【紙芝居】

#### おさんぽおさんぽポンチョコリーナ

脚本 新沢としひこ 絵 長谷川義史

おさんぽに行きたくなる魔法にかかったペンギンのぬいぐるみのギンペーが、ルンルン園のみんなとはじめて外におでかけです。ひらひらちようちよと遊んだり、大きな原っぱに行ったり。最後にはギンペーが大好きなことが…。

出版社…童心社

## 図書館の本棚から

### 【一般書・健康】

#### 老けない人は何が違うのか

山岸昌一 著

老化の原因はズバリ、体内にたまる「AGE(終末糖化産物)」。老化のメカニズムや、健康的でよりよい老後を送るための生活習慣を、科学的根拠に基づいて具体的に解説する。よりよく年をとるための秘訣も紹介。

出版社…合同フォレスト

### 【一般書・小説】

#### 風船爆弾

福島のりよ 作

太平洋戦争末期、日本には、もうこれ以外に米国への攻撃の手段はなかった。気球に爆弾を積み、無誘導で9千発以上が放たれた。秘密作戦「風船爆弾」の姿を描く。『子ども世界』連載をもとに書籍化。

出版社…富山房インターナショナル



三和図書館

## 命を未来につなぐ

間下蓮斗さん 古河第三小学校6年生

ぼくの将来の夢は、救急救命士になることです。小さいときから、将来は人の役に立てる仕事に就きたいと思っていました。ある時、その思いが強くなる出来事が起きました。映像の中で見た東日本大震災です。がれきに埋もれた人を懸命に探し、必死に命を救っている人々の姿を見て、ぼくは心から感動しました。

何よりも大切な、命に関わる責任ある仕事です。ぼくは、その仕事にとっても魅力を感じています。多くの命を未来につなげることができる、そんな救急救命士になりたいです。



わたしの夢